法曹養成制度概要

法曹三者になるには？

法曹三者（裁判官、検察官、弁護士）になるためには、司法試験に合格する必要があります。
しかし、司法試験は誰でも受験できるわけではなく、一定の受験資格が求められます。
ここでは受験資格を得る2つの方法、「法科大学院進学ルート」「司法試験予備試験受験ルート」について紹介します。

法科大学院進学ルート

POINT

1. 法学の修得状況で2コースに分かれる
2. 必要な単位を修得すれば確実に司法試験の受験資格が得られる
3. 双方向型の授業を通じて知識を深められる
4. 切磋琢磨できる仲間が見つけやすい
5. いわゆる法曹コースを選択すれば最短5年で受験資格を取得できる

法学既修者コース 進学希望者

法学部等

法曹一貫教育

連携法曹基礎課程（法曹コース）
▶原則3年間
※本学では法曹コースにおける一貫教育プログラムを指します。

提携先の法科大学院 →

法科大学院入試（法学既修者コース）
特別選抜
▶5年一貫型
学部成績・面接等で選抜
▶開放型
学部成績＋論文式試験等で選抜

合格 →

法科大学院
法学既修者コース
▶2年間
法学既修者コースの標準修業年限は2年です。
※一定の要件を満たした場合、在学中に司法試験の受験も可能です。

提携先以外の法科大学院 →

連携法曹基礎課程（法曹コース）以外
▶4年間
（早期卒業で3年間も可）

→

一般選抜等
法律科目中心
試験形式は短答式・論文式・面接等。各法科大学院独自の形式で実施されます。
■ 国公立大学院 11～12月頃
■ 私立大学院 8～9月頃
※時期はおおよその目安。

合格 →

法学未修者コース 進学希望者

こんな人におすすめ
■法学部以外の学部を卒業予定
■大学院で法学を基礎から学び直したい

→

法科大学院入試（法学未修者コース）
小論文・一般常識問題・面接等
各法科大学院独自の形式で実施されます。
■ 国公立大学院 11～12月頃
■ 私立大学院 8～9月頃
※時期はおおよその目安。

合格 →

法科大学院
法学未修者コース
▶3年間
法学未修者コースの標準修業年限は3年です。
※一定の要件を満たした場合、在学中に司法試験の受験も可能です。

→

司法試験予備試験受験ルート

POINT

1. 予備試験は誰でも受験でき、合格すれば司法試験の受験資格が得られる
2. 一般的に経済的負担が少ない
3. 予備試験の難度は非常に高い

司法試験予備試験 短答式試験
■ 法律基本科目
（憲法・行政法・民法・商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法）
各科目10～15問程度
■ 一般教養科目
（人文科学・社会科学・自然科学・英語）
全40問程度出題のうち、20問選択・解答

合格 →

司法試験予備試験 論文式試験
■ 法律基本科目
（憲法・行政法・民法・商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法）各科目1問、全7問出題
■ 選択科目
（倒産法・租税法・経済法・知的財産法・労働法・環境法・国際関係法（公法系）及び国際関係法（私法系））
1科目選択
■ 法律実務基礎科目
（民事訴訟実務・刑事訴訟実務）
民事・刑事各1問、全2問出題

合格 →

司法試験予備試験 口述試験
■ 法律実務基礎科目
（民事訴訟実務・刑事訴訟実務）

合格 →

司法試験

短答式試験
・憲法
・民法
・刑法

論文式試験
■ 必須科目
・憲法
・行政法
・民法
・商法
・民事訴訟法
・刑法
・刑事訴訟法

■ 選択科目（1科目選択）
・倒産法
・租税法
・経済法
・知的財産法
・労働法
・環境法
・国際関係法（公法系）
・国際関係法（私法系）

→ **司法試験合格** → **司法修習（1年間）** → **法曹三者**

※法科大学院入試での提出書類は、それぞれの大学に確認してください。
※法曹一貫教育（連携法曹基礎課程（法曹コース））は、2019年度以降入学された方を対象とした制度です。
※各種制度は今後変更になることがあります。
※司法試験および司法試験予備試験の実施に関する詳細は、法務省から発信される各受験案内をご覧ください。

MORE!▸▸▸▸▸▸▸

司法試験予備試験や法科大学院への進学など、
目標を見据えて勉強に取り組み続ける秘訣とは？
そもそも、法律家を目指したきっかけは？

司法試験合格を果たした先輩たちによる座談会はP.18をCHECK!